

法 学 研 究 科

人材養成に関する目的、教育研究上の目的

◆人材養成に関する目的

法学研究科は、政治学・法学について、分野ごとの体系的・専門的研究を通じ基本理論を学ぶとともに、現代的領域の研究や実務能力の養成を目指すことをとおして、より高度な専門性とともに、現代社会における有用な高度な理論と実務能力を身につけて、高度に専門的な職業や研究職などにおいて活躍する人材を育成することを目的とする。

政治学専攻

◇修士（政治学）

目指すべき人材(物)像

法学研究科政治学専攻博士課程（前期）は、国際関係・地域研究、政治過程、政治史・政治思想について、基幹科目の履修により、社会の諸問題に対する高度の考察・分析能力と実務能力の養成を目指すことをとおして、高度かつ専門的な知識、豊かな総合力をもって柔軟に対応することができる能力を修得し、研究者のほか公務員、国際公務員、企業の企画・総務部門、ジャーナリスト、NGOスタッフといった専門職などにおいて活躍する人材を育成することを目的とする。

◆ディプロマ・ポリシー（DP）

下記の資質・能力を備えた学生に修士（政治学）学位を授与します。

知識・技能

- ・政治学について専門性の高い知識を体系的に獲得し、社会における政治学的諸問題を客観的に調査する能力を修得する。

思考力・判断力・表現力

- ・政治学的な視点から、説得力のある議論を展開できるようになる。
- ・社会における政治学的諸問題に対応できる柔軟な応用力を修得する。

主体性・多様性・協働性

- ・文化や思想の多様性を尊重し、他者との協働を通じて、社会における政治学的諸問題の解決に向けて主体的に行動することができるようになる。

◆カリキュラム・ポリシー（CP）

DPでの資質・能力を備えるために、下記のカリキュラムを設けます。

カリキュラム総説

- ・政治学に関する高度な専門的知識を修得し、国際化・複雑化が進む現代社会に生じる多様な社会事象や問題を的確に分析し、説得力のある議論ができる能力を身につけた人材を養成するために、国際関係・地域研究、政治過程、政治史・政治思想の3つの分野を柱とした標準的な科目群によって構成されるカリキュラムを設置する。また、ダブル・ディグリープログラムおよび単位互換プログラムのために研究科間科目を設置する。

学力の三要素 / 領域

知識・技能

- ・社会における政治学的諸問題の理解に必要な基礎知識と調査技能を修得するために、必修科目として「政治学基礎」を設置する。
- ・「国際関係科目・地域研究科目」については、理論と実践のバランスに配慮しつつ、また、地域的なバランスを可能な限り考慮しながら科目を設置する。
- ・「政治過程科目」については、現代政治過程の「アクター」と「アリーナ」の2つの次元においてバランスの取れた科目を設置する。
- ・「政治史科目・政治思想科目」については、「洋の東西」と「歴史と思想」の2つの軸においてバランスに配慮した科目を設置する。
- ・上記の標準的な科目群に加え、「文献研究」、「大学院特殊講義」を設置し、学問動向の変化に迅速に対応することのできるカリキュラムとする。
- ・課程の集大成として、修了要件である「論文」およびその執筆を指導する「論文指導」を設置する。

思考力・判断力・表現力

- ・学生は、それぞれの専門に対応する科目群にウエイトを置きつつも、政治学全体としてのバランスに配慮しつつ選択的に履修をすることにより、社会における政治学的諸問題に対応できる柔軟な応用力を修得する。
- ・修士論文の執筆過程において指導教員から論文のテーマ・論文作成方法などについて個別的な指導を受ける「論文指導」を通じて、研究者や専門職として活動する際に求められる基本的な能力を修得する。

主体性・多様性・協働性

- ・学生は、政治学専攻のほぼすべての科目において、担当教員からの研究に関する直接的、間接的指導を受け、担当教員および他の学生との議論を行うことから、主体的に考え、他者の考えを尊重し、協働して学びを深める力を習得することができる。
- ・修士論文執筆過程では、執筆の現状などを中間報告会で報告する中で、関係する教員から指導を受けることが義務付けられていることから、自分の考えを主体的かつ論理的に表現する力を修得することができる。

◇修士（比較政治学）

目指すべき人材(物)像

法学研究科政治学専攻博士課程（前期）は、国際関係・地域研究、政治過程、政治史・政治思想について、基幹科目の履修により、社会の諸問題に対する高度の考察・分析能力と実務能力の養成を目指すことをとおして、高度かつ専門的な知識、豊かな総合力をもって柔軟に対応することができる能力を修得し、研究者のほか公務員、国際公務員、企業の企画・総務部門、ジャーナリスト、NGOスタッフといった専門職などにおいて活躍する人材を育成することを目的とする。

◆ディプロマ・ポリシー（DP）

下記の資質・能力を備えた学生に修士（比較政治学）学位を授与します。

知識・技能

- ・政治学について専門性の高い知識を体系的に獲得し、比較の手法を駆使することにより、地球規模で発生

する問題を客観的に調査する技能を修得する。

思考力・判断力・表現力

- ・政治学的な視点から、説得力のある議論を展開できる。
- ・地球規模で発生する問題に対して創造的な対応をするために、学術や実務の場で英語を適切に運用できる。

主体性・多様性・協働性

- ・文化や思想の多様性を尊重し、他者との協働を通じて、地球規模で発生する問題の解決に向けて主体的に行動することができる。

◆カリキュラム・ポリシー（CP）

カリキュラム総説

DPでの資質・能力を備えるために、下記のカリキュラムを設けます。

- ・政治学に関する高度な専門的知識を修得し、地球規模で発生する問題に対して創造的な対応のできる未来のリーダーとしての能力を身につけた人材を養成するために、英語で授業が行われる日本やアジアの法と政治に関する必修科目、国際関係・地域研究、政治過程、政治史・政治思想の3つの分野を柱とした選択科目などの標準的な科目群によって構成されるカリキュラムを設置する。また、ダブル・ディグリープログラムおよび単位互換プログラムのために研究科間科目を設置する。
- ・学生は、前期課程の2年間のうち、同志社大学と海外提携大学でそれぞれ一定期間修学し、すべての修了要件を満たすことにより、両大学からそれぞれ学位が授与される。

学力の三要素 / 領域

知識・技能

- ・必修科目については、英語で授業が行われる日本やアジアの法と政治および政治学の方法論に関する科目を設置する。
- ・選択科目については、国際関係・地域研究、政治過程、政治史・政治思想の3つの分野を柱として、バランスの取れた科目を設置する。
- ・課程の集大成として、修了要件である「論文」およびその執筆を指導する「論文指導」を設置する。

思考力・判断力・表現力

- ・学生は、必修科目の履修をとおして政治学の基礎知識と調査技能を修得したうえで、政治学全体としてのバランスに配慮しつつ選択科目を履修をすることにより、地球規模で発生する問題に対して創造的な対応のできる未来のリーダーとしての能力を修得する。
- ・修士論文の執筆過程において、指導教員から英語で執筆する論文のテーマ・論文作成方法などについて個別的な指導を受ける「論文指導」を通じて、研究者や専門職として活動する際に求められる基本的な能力を修得する。

主体性・多様性・協働性

- ・学生は、政治学専攻のほぼすべての科目において、担当教員からの研究に関する直接的、間接的指導を受け、担当教員および他の学生との議論を行うことから、主体的に考え、他者の考えを尊重し、協働して学びを深める力を習得することができる。
- ・英語での修士論文執筆過程では、執筆の現状などを中間報告会で報告する中で、関係する教員から指導を受けることが義務付けられていることから、自分の考えを主体的かつ論理的に表現する力を修得することができる。

私法学専攻

◇修士（法学）

目指すべき人材(物)像

法学研究科私法学専攻博士課程（前期）は、民法・商法・民事手続法・労働法・知的財産法・国際私法などの私法学科目について、基幹科目の履修により、現代社会において有用な高度な理論と実務能力の養成を目指すことをとおして、高度かつ専門的な知識、豊かな総合力をもって柔軟に対応することができる能力（高度のリーガルマインド）を修得し、研究者のほか、公務員、企業の法務部門、司法書士や税理士といった専門職などにおいて活躍する人材を育成することを目的とする。

◆ディプロマ・ポリシー（DP）

下記の資質・能力を備えた学生に修士（法学）学位を授与します。

知識・技能

- ・研究者や法律専門職としての活動の基盤となる、私法学を中心とする高度な専門的知識を獲得し、自らの課題についての基本的な調査・研究手法を修得する。

思考力・判断力・表現力

- ・研究者や法律専門職として直面する多様な法律問題に対応するための、総合的な判断力や柔軟な応用力を修得し、説得力のある法的議論ができるようになる。

主体性・多様性・協働性

- ・国際化・複雑化が進む現代社会に生じる様々な社会事象をめぐる法的な問題に関して、多様な関心をもつ教員・学生と協働しながら主体的に分析する態度を身につける。

◆カリキュラム・ポリシー（CP）

カリキュラム総説

DPでの資質・能力を備えるために、下記のカリキュラムを設けます。

- ・私法学を中心とした法律学分野に関する高度な専門的知識を修得し、国際化・複雑化が進む現代社会に生じる多様な社会事象や問題を的確に分析し、説得力のある法的議論ができる能力を身につけた人材を養成するために、基幹科目と共通科目によって構成されるカリキュラムを設置する。また、ダブル・ディグリープログラムおよび単位互換プログラムのために「グローバル科目」を設置する。さらに、これらの科目を補完する「研究科間科目」も設置する。

学力の三要素 / 領域

知識・技能

- ・基幹科目と共通科目を履修することにより、各法律分野に関する高度な専門的知識を修得する。また、個別的・時事的問題を取り上げる「大学院特殊講義」、外国法へのアクセス能力を養成するための「文献研究（英語・ドイツ語・フランス語）」を設置する。

課程の集大成として、修了要件である「論文」およびその執筆を指導する「論文指導」を設置する。

思考力・判断力・表現力

- ・主として演習形式で行われる基幹科目と共通科目を通じて多様な法律問題に対して総合的かつ柔軟な応用力をもって対応するとともに、説得力ある法的議論を展開するための能力を修得する。また「ケース・スタディ」科目を設置することにより、判例の分析をとおして高度な法的分析能力の養成を図る。そして国際化・複雑化が進む現代社会に生じる多様な問題に対して法的な観点からアプローチし分析を行う、より高度な能力を修得することを目的として、海外の法学系大学院と連携してダブル・ディグリープログラムおよび単位互換プログラムを推進する。
- ・他方で、修士論文の執筆過程において指導教授から個別的な指導を受ける科目である「論文指導」を通じて、研究者や法律専門職として活動する際に求められる基本的な能力を修得する。

主体性・多様性・協働性

- ・前期課程の柱となる「基幹科目」のほか、公務員、企業の法務スタッフ、司法書士、税理士、弁理士などの国内外で法律に携わる専門的職業に就くことを目指す人材にとって特に有意義な科目として、専門性の高い重要課題を取り扱う「ビジネス関連科目」、「ケーススタディ」を設置する。また海外の法学系大学院と連携したダブル・ディグリープログラムおよび単位互換プログラムをとおして、国際化・複雑化が進む現代社会に生じる多様な問題に対して法的な観点からアプローチし分析を試みる基本的な能力を修得する。これらは基本的に学生の主体的な取り組みの中で行われるもので、受講希望の学生が自らの関心や進路計画に応じて選択し履修する。
- ・修士論文執筆過程では、執筆の現状などを中間報告会で報告する中で、関係する教員から指導を受けることが義務付けられている。この過程で、自分の考えを主体的かつ論理的に表現する能力を身につける。

公法学専攻

◇修士（法学）

目指すべき人材(物)像

法学研究科公法学専攻博士課程（前期）は、憲法・行政法・税法・刑法・国際法などの公法学科目および法哲学・法思想史・英米法・法社会学・法史学などの基礎法学科目について、基幹科目の履修により、高度な理論と実務能力の養成を目指すことをとおして、高度かつ専門的な知識、豊かな総合力をもって柔軟に対応することができる能力（高度のリーガルマインド）を修得し、研究者のほか、公務員、企業の法務部門、司法書士や税理士などといった専門職、国際公務員などにおいて活躍する人材を育成することを目的とする。

◆ディプロマ・ポリシー（DP）

下記の資質・能力を備えた学生に修士（法学）学位を授与します。

知識・技能

- ・研究者や法律専門職としての活動の基盤となる、公法学を中心とする高度な専門的知識を獲得し、自らの課題についての基本的な調査・研究手法を修得する。

思考力・判断力・表現力

- ・研究者や法律専門職として直面する多様な法律問題に対応するための、総合的な判断力や柔軟な応用力を

修得し、説得力のある法的議論ができるようになる。

主体性・多様性・協働性

- ・国際化・複雑化が進む現代社会に生じる様々な社会事象をめぐる法的な問題に関して、多様な関心をもつ教員・学生と協働しながら主体的に分析する態度を身につける。

◆カリキュラム・ポリシー（CP）

カリキュラム総説

DPでの資質・能力を備えるために、下記のカリキュラムを設けます。

- ・公法学科目および基礎法学科目を中心とした法律学分野に関する高度な専門的知識を修得し、国際化・複雑化が進む現代社会に生じる多様な社会事象や問題を的確に分析し、説得力のある法的議論ができる能力を身につけた人材を養成するために、基幹科目と共通科目によって構成されるカリキュラムを設置する。また、ダブル・ディグリープログラムおよび単位互換プログラムのために「グローバル科目」を設置する。さらに、これらの科目を補完する「研究科間科目」も設置する。

学力の三要素 / 領域

知識・技能

- ・基幹科目と共通科目を履修することにより、各法律分野に関する高度な専門的知識を修得する。また、個別的・時事的問題を取り上げる「大学院特殊講義」、外国法へのアクセス能力を養成するための「文献研究（英語・ドイツ語・フランス語）」を設置する。課程の集大成として、修了要件である「論文」およびその執筆を指導する「論文指導」を設置する。

思考力・判断力・表現力

- ・主として演習形式で行われる基幹科目と共通科目を通じて、多様な法律問題に対して総合的かつ柔軟な応用力をもって対応するとともに、説得力ある法的議論を展開するための能力を修得する。また、「ケース・スタディ」科目を設置することにより、判例の分析をとおして高度な法的分析能力の養成を図る。そして、国際化・複雑化が進む現代社会に生じる多様な問題に対して法的な観点からアプローチし分析を行う、より高度な能力を修得することを目的として、海外の法学系大学院と連携してダブル・ディグリープログラムおよび単位互換プログラムを推進する。
- ・他方で、修士論文の執筆過程において指導教授から個別的な指導を受ける科目である「論文指導」を通じて、研究者や法律専門職として活動する際に求められる基本的な能力を修得する。

主体性・多様性・協働性

- ・前期課程の柱となる「基幹科目」のほか、公務員、企業の法務スタッフ、司法書士、税理士、弁理士などの国内外で法律に携わる専門的職業に就くことを目指す人材にとって特に有意義な科目として、専門性の高い重要課題を取り扱う「ビジネス関連科目」、「ケーススタディ」を設置する。また、海外の法学系大学院と連携したダブル・ディグリープログラムおよび単位互換プログラムをとおして、国際化・複雑化が進む現代社会に生じる多様な問題に対して法的な観点からアプローチし分析を試みる基本的な能力を修得する。これらは基本的に学生の主体的な取り組みの中で行われるもので、受講希望の学生が自らの関心や進路計画に応じて選択し履修する。
- 修士論文の執筆過程では、執筆の現状などを中間報告会で報告する中で、関係する教員から指導を受けることが義務付けられている。この過程で、自分の考えを主体的かつ論理的に表現する能力を身につける。

法学研究科

政治学専攻

登録コード		科目名	単位	担当者	期間	週時間	聴講区分	備考
科目	クラス							
30315001		政治学基礎	2	西澤・鷺江・森(靖)	春学期	2	不可	(注1)
30315002		社会調査論	2	森 裕城	春学期	2	不可	
30315003		計量政治学	2	飯田 健	春学期	2	可	
30315011		国際関係1 (国際関係理論)	2	大矢根 聡	秋学期	2	可	
30315012		国際関係2 (国際政治経済論)	2	大矢根 聡	春学期	2	可	
30315013		国際関係3 (国際安全保障論)	2	村田 晃嗣	秋学期	2	可	
30315014		国際関係4 (国際組織論)	2	鷺江 義勝	秋学期	2	可	
30315015		国際関係5 (国際関係史)	2	鷺江 義勝	春学期	2	可	
30315016		国際関係6 (外交政策論)	2	浅野 亮	春学期	2	可	
30315021		地域研究1 (中国)	2	浅野 亮	秋学期	2	可	
30315022		地域研究2 (東南アジア)	2	森下 明子	春学期	2	可	
30315023		地域研究3 (南アジア)	2	中溝 和弥	秋学期	2	可	
30315024		地域研究4 (中東)	2	北澤 義之	春学期	2	可	
30315025		地域研究5 (ヨーロッパ)	2	鷺江 義勝	春学期	2	可	
30315026		地域研究6 (アメリカ)	2	村田 晃嗣	春学期	2	可	
30315031		政治過程1 (政治過程論)	2	森 裕城	秋学期	2	不可	
30315032		政治過程2 (政治行動論)	2	西澤 由隆	春学期	2	可	
30315033		政治過程3 (政治経済学)	2	市川 喜崇	秋学期	2	可	
30315034		政治過程4 (選挙研究)	2	(本年度休講)				
30315035		政治過程5 (比較政治)	2	力久 昌幸	秋学期	2	可	
30315036		政治過程6 (行政学)	2	市川 喜崇	春学期	2	可	
30315037		政治過程7 (地方政府論)	2	(本年度休講)				
30315041		政治史1 (日本政治史1)	2	森 靖夫	春学期	2	可	
30315042		政治史2 (日本政治史2)	2	森 靖夫	秋学期	2	可	
30315043		政治史3 (日本政治史資料講読)	2	(本年度休講)				
30315044		政治史4 (ヨーロッパ政治史1)	2	(本年度休講)				
30315045		政治史5 (ヨーロッパ政治史2)	2	力久 昌幸	春学期	2	可	
30315051		政治思想1 (西洋政治思想史)	2	長谷川一年	春学期	2	可	
30315052		政治思想2 (現代の政治理論)	2	長谷川一年	秋学期	2	可	
30315053		政治思想3 (日本政治思想史)	2	長妻三佐雄	春学期	2	可	
30315054		政治思想4 (日本政治思想史資料講読)	2	長妻三佐雄	秋学期	2	可	
30315112	001	政治学文献研究	2	長谷川一年	春学期	2	可	(注2)
30315112	002	政治学文献研究	2	長谷川一年	秋学期	2	可	(注2)
30315112	003	政治学文献研究	2	馬原 潤二	春学期	2	可	(注2)
30315112	004	政治学文献研究	2	馬原 潤二	秋学期	2	可	(注2)
大学院特殊講義								
		テーマ						
30315142	001	方法論セミナー (応用)	2	飯田 健	春学期	集中	可	(注3,4,5)
30315121	002	明治期崩し字史料読解1	2	森 靖夫	春学期	2	可	(注5)
30315122	003	明治期崩し字史料読解2	2	森 靖夫	秋学期	2	可	(注5)
30315124	004	Law and Diplomacy in International Relations 1	2	兼原 信克	春学期	2	可	(注5)
30315125	005	Law and Diplomacy in International Relations 2	2	兼原 信克	秋学期	2	可	(注5)
30315123	006	Introduction to the Japanese Policy Process	2	ROBERT WILLIAM ASPINALL	春学期	2	可	(注5)
30315143	007	Experimental Political Science 2024	2	村上 剛	秋学期	2	可	

(注1) 「政治学基礎」は必修科目です。また、1年次生については大学で一括して登録します。

(注2) 2022年度以前生は、「文献研究」を履修してください。

(注3) 今年度修了予定者は登録できない場合がありますので、掲示を確認してください。

(注4) 「大学院特殊講義」クラス1は、「計量政治学」が過年度履修済みであるか、履修中であることが条件となります。

(注5) 過年度に同一テーマの「大学院特殊講義」を履修済みの場合、修了必要単位に参入されません。詳細は『法学研究科履修の手引き』および掲示等を参照してください。

登録コード		科 目 名	単 位	担 当 者	期 間	週時間	聴講区分	備 考
科 目	クラス							
研究科間協定科目								
30306001	001	Introduction to Japanese Law	2	萩原 一樹	春学期	集中	不可	
30306001	002	Introduction to Japanese Law	2	萩原 一樹	秋学期	集中	不可	
30306002	001	Introduction to Japanese Politics	2	飯田 健	春学期	2	可	
30306002	002	Introduction to Japanese Politics	2	飯田 健	秋学期	2	可	
30306022		Political Economy in the Asia-Pacific Region	2	寺田 貴	秋学期	2	可	
30306023		International Relations Theory in the Asia-Pacific Region	2	寺田 貴	春学期	2	可	
30306024		Public Opinion and Political Participation in Japan	2	西澤 由隆	秋学期	2	不可	
30306025		Development and Democracy in East Asia	2	森下 明子	秋学期	2	可	
【論文指導科目・論文】								
30305996		論文指導	2	別表参照				
30311901		論 文						

●政治学専攻・論文指導

科目コード：30305996

担当者	クラスコード		担当者	クラスコード	
	春	秋		春	秋
浅野 亮	101	501	西澤 由隆	108	508
長谷川一年	102	502	大矢根 聡	109	509
市川 喜崇	103	503	カ久 昌幸	110	510
飯田 健	104	504	寺田 貴	111	511
森 裕城	105	505	鷲江 義勝	112	512
森 靖夫	106	506	兼原 信克	113	513
村田 晃嗣	107	507	—	—	—

【注 意】

※「論文指導」は合計4単位を履修する必要がある、うち2単位は修了する学期に必ず履修しなければなりません。

※修士論文を提出する予定の方は、決定している指導教員の担当する「論文指導」および「論文」を必ず登録してください。

※春・秋学期に1回ずつ登録する場合は、必ず同一担当者の「論文指導」を登録してください（指導教員の「論文指導」が半期のみ開講の場合は、今出川キャンパス教務センター（法学研究科）までご連絡ください）。

※今年度修士論文を提出する予定でない場合でも、下記に該当する方は、今年度中に「論文指導」を必ず登録してください。「論文指導（計4単位）」の履修には、2学期以上必要となりますので、計画的に登録履修をしてください。

1. 来年度の春学期修了を予定している
2. 来年度の秋学期修了を予定しているが、春学期は休学する予定である
3. すでに1年半以上在籍しており、今後は修士論文を提出する学期以外は休学予定である

※後述の「履修について（政治学専攻）」を参照してください。

私 法 学 専 攻

登録コード		科 目 名	単 位	担 当 者	期 間	週時間	聴講区分	備 考
科 目	クラス							
【基幹科目】								
30335301		民法演習ⅠⅠ	2	川和 功子	春学期	2	不可	
30335302		民法演習ⅠⅡ	2	川和 功子	秋学期	2	不可	
30335311		民法演習ⅡⅠ	2	梶山 玉香	春学期	2	不可	
30335312		民法演習ⅡⅡ	2	梶山 玉香	秋学期	2	不可	
30335321		民法演習ⅢⅠ	2	神谷 遊	春学期	2	可	
30335322		民法演習ⅢⅡ	2	神谷 遊	秋学期	2	可	
30335331		民法演習ⅣⅠ	2	上田誠一郎	春学期	2	可	
30335332		民法演習ⅣⅡ	2	上田誠一郎	秋学期	2	可	
30335351		商法演習ⅠⅠ	2	川口 恭弘	春学期	2	不可	
30335352		商法演習ⅠⅡ	2	船津 浩司	秋学期	2	不可	
30335361		商法演習ⅡⅠ	2	伊藤 靖史	春学期	2	不可	
30335362		商法演習ⅡⅡ	2	伊藤 靖史	秋学期	2	不可	
30335371		商法演習ⅢⅠ	2	釜田 薫子	春学期	2	不可	
30335372		商法演習ⅢⅡ	2	釜田 薫子	秋学期	2	不可	
30335381		経済法演習Ⅰ	2	瀬領 真悟	春学期	2	可	
30335382		経済法演習Ⅱ	2	瀬領 真悟	秋学期	2	可	
30335401		民事訴訟法演習ⅠⅠ	2	岡田 幸宏	春学期	2	可	
30335402		民事訴訟法演習ⅠⅡ	2	岡田 幸宏	秋学期	2	可	
30335411		民事訴訟法演習ⅡⅠ	2	川嶋 四郎	春学期	2	可	
30335412		民事訴訟法演習ⅡⅡ	2	川嶋 四郎	秋学期	2	可	
30335451		知的財産法演習Ⅰ	2	(本年度休講)				
30335452		知的財産法演習Ⅱ	2	(本年度休講)				
30335461		知的財産法演習ⅠⅠ	2	井関 涼子	春学期	2	可	(注1)
30335462		知的財産法演習ⅠⅡ	2	井関 涼子	秋学期	2	可	(注2)
30335471		知的財産法演習ⅡⅠ	2	山根 崇邦	春学期	2	可	
30335472		知的財産法演習ⅡⅡ	2	山根 崇邦	秋学期	2	可	
30335501		国際私法演習Ⅰ	2	高杉 直	春学期	2	可	
30335502		国際私法演習Ⅱ	2	林 貴美	秋学期	2	可	
30335551		労働法演習ⅠⅠ	2	土田 道夫	春学期	2	可	
30335552		労働法演習ⅠⅡ	2	土田 道夫	秋学期	2	可	
30335561		労働法演習ⅡⅠ	2	上田 達子	春学期	2	可	
30335562		労働法演習ⅡⅡ	2	上田 達子	秋学期	2	可	
【共通科目】								
30305901		ケーススタディ憲法	2	檜垣 伸次	春学期	2	可	
30305902		ケーススタディ行政法	2	黒坂 則子	春学期	2	不可	
30305903		ケーススタディ税法	2	倉見 智亮	春学期	2	可	
30305904		ケーススタディ刑法	2	十河 太朗	秋学期	2	可	
30305905		ケーススタディ刑事訴訟法	2	濱田 毅	秋学期	2	可	
30305906		ケーススタディ国際法	2	岩本 誠吾	秋学期	2	可	
30305912		ケーススタディ民法Ⅰ	2	荻野・野々村	春学期	2	可	
30305913		ケーススタディ民法Ⅱ	2	荻野・野々村	秋学期	2	可	
30305908		ケーススタディ商法	2	伊藤・船津	春学期	2	不可	
30305909		ケーススタディ民事訴訟法	2	園田 賢治	秋学期	2	可	
30305921		ビジネス契約法	2	松田日佐子	秋学期	集中	可	(注3)
30305922		消費者法	2	荻野 奈緒	秋学期	2	可	
30305923		金融取引法	2	船津 浩司	秋学期	2	不可	
30305924		経済刑法	2	山田 慧	秋学期	2	可	
30305925		コーポレート・ガバナンス	2	釜田 薫子	春学期	2	不可	
30305926		コーポレート・ファイナンス	2	伊藤 靖史	秋学期	2	不可	
30305945		証券規制	2	川口 恭弘	秋学期	2	不可	(注4)

(注1) 過年度に「知的財産法演習Ⅰ」を履修済の場合、修了必要単位に算入されません。

(注2) 過年度に「知的財産法演習Ⅱ」を履修済の場合、修了必要単位に算入されません。

(注3) 今年度修了予定者は登録できない場合がありますので、掲示を確認してください。

(注4) 2023年度以前生は、「金融商品取引法」を履修してください。

登録コード		科 目 名	単 位	担 当 者	期 間	週時間	聴講区分	備 考
科 目	クラス							
30305928		M & A	2	船津 浩司	春学期	2	不可	
30305942		企業活動と経済法	2	小林 涉	秋学期	2	可	
30305929		企業税法	2	倉見 智亮	秋学期	2	可	
30305930		法律英語	2	松田日佐子	春学期	集中	可	(注1)
30305931		担保権実行法	2	川嶋 四郎	春学期	2	可	
30305932		倒産処理法	2	金・中西	春学期	2	可	
30305933		国際取引法	2	高杉 直	春学期	2	可	
30305934		国際経済法	2	瀬領 真悟	春学期	2	可	
30305935		国際民事訴訟法	2	高杉 直	秋学期	2	可	
30305936		国際知的財産法	2	辻 淳子	秋学期	2	可	
30305937		ビジネスと知的財産法	2	山田威一郎	春学期	2	可	
30305938		企業人事と労働法	2	土田 道夫	春学期	2	可	
30305939		企業法務と労働法	2	土田 道夫	秋学期	2	可	
30305943		企業法務エッセンス	2	渡邊・廣田	春学期	2	不可	
30305940		企業法務ベーシック	2	船津・渡邊・廣田	春学期	2	不可	
30305944	001	企業法務アドバンス[リーガルフィールドワークの準備]	2	渡邊 義広	春学期	2	可	(注2)
30305944	002	企業法務アドバンス[最近の労働法制と企業法務]	2	渡邊 義広	秋学期	2	可	(注2)
30305944	003	企業法務アドバンス[調停の理論と紛争解決の制度]	2	入江 秀晃	春学期	集中	可	(注1・注2)
30305944	004	企業法務アドバンス[調停の技法の実践的学習]	2	入江 秀晃	秋学期	集中	可	(注1・注2)
30305944	005	企業法務アドバンス[M&Aとファイナンスの法と実務]	2	永井 智亮	春学期	集中	可	(注1・注2)
30305944	006	企業法務アドバンス[コーポレート・ガバナンスと企業倫理]	2	永井 智亮	秋学期	集中	可	(注1・注2)
30305944	007	企業法務アドバンス[国際契約論]	2	小倉 隆	春学期	2	可	(注2)
30305944	008	企業法務アドバンス[国際商事紛争解決の実務と法]	2	小倉 隆	秋学期	2	可	(注2)
30305944	009	企業法務アドバンス[企業法務部に不可欠な知識とスキル]	2	飯田 浩司	春学期	集中	可	(注1・注2)
30305944	010	企業法務アドバンス[国際民事紛争解決の実務(日本仲裁人協会寄付講座)]	2	渡邊・廣田	春学期	2	可	(注2)
30304491		リーガル・フィールドワーク	2	釜田・渡邊・廣田	秋学期	2	不可	(注3)
30305984	001	法学文献研究[英語]	2	濱 真一郎	春学期	2	可	(注4)
30305984	002	法学文献研究[英語]	2	川崎 友巳	春学期	2	不可	(注4)
30305984	003	法学文献研究[英語]	2	川崎 友巳	秋学期	2	不可	(注4)
30305984	004	法学文献研究[英語]	2	川嶋 四郎	春学期	2	可	(注4)
30305984	005	法学文献研究[英語]	2	川嶋 四郎	秋学期	2	可	(注4)
30305984	006	法学文献研究[英語]	2	川和 功子	春学期	2	不可	(注4)
30305984	007	法学文献研究[英語]	2	川和 功子	秋学期	2	不可	(注4)
30305984	009	法学文献研究[英語]	2	黒坂 則子	春学期	2	不可	(注4)
30305984	010	法学文献研究[英語]	2	黒坂 則子	秋学期	2	不可	(注4)
30305984	011	法学文献研究[英語]	2	倉見 智亮	春学期	2	不可	(注4)
30305984	012	法学文献研究[英語]	2	倉見 智亮	秋学期	2	不可	(注4)
30305984	013	法学文献研究[英語]	2	浅野 有紀	春学期	2	可	(注4)
30305984	014	法学文献研究[英語]	2	浅野 有紀	秋学期	2	可	(注4)
30305984	015	法学文献研究[ドイツ語]	2	平井 亮輔	秋学期	2	可	(注4)
30305984	016	法学文献研究[ドイツ語]	2	上田誠一郎	春学期	2	可	(注4)
30305984	017	法学文献研究[ドイツ語]	2	上田誠一郎	秋学期	2	可	(注4)
30305984	018	法学文献研究[ドイツ語]	2	中田 邦博	春学期	2	可	(注4)
30305984	019	法学文献研究[ドイツ語]	2	中田 邦博	秋学期	2	可	(注4)
30305984	020	法学文献研究[ドイツ語]	2	池田 直人	春学期	2	不可	(注4)
30305984	021	法学文献研究[ドイツ語]	2	池田 直人	秋学期	2	不可	(注4)
30305984	022	法学文献研究[ドイツ語]	2	林 貴美	春学期	2	不可	(注4)

(注1) 今年度修了予定者は登録できない場合がありますので、掲示を確認してください。

(注2) 各クラス1回のみ履修可能です。過年度に履修したクラス以外の企業法務アドバンスを登録しようとした際、画面上に「過年度履修済み」と表示されますが、同一クラス以外は登録することが可能です。

(注3) 「リーガル・フィールドワーク」は、当該年度の「企業法務エッセンス」「企業法務ベーシック」の履修を条件とし、受講生選考を実施します。詳細は『法学研究科履修の手引き』を参照してください。

(注4) 2022年度以前生は、「文献研究(～語)」を履修してください。

登録コード		科 目 名	単 位	担 当 者	期 間	週時間	聴講区分	備 考
科 目	ク ラ ス							
大学院特殊講義								
テーマ								
30305991	101	グローバル時代の法、政治、分配的正義	2	浅野（有）・濱	秋学期	2	可	
30305991	102	武力紛争法2024	2	岩本 誠吾	春学期	2	可	
グローバル科目 [] はサブタイトルを表す								
30306001	001	Introduction to Japanese Law	2	萩原 一樹	春学期	集中	不可	(注1)
30306001	002	Introduction to Japanese Law	2	萩原 一樹	秋学期	集中	不可	(注1)
30306010	001	American Law [Criminal Law -2024]	2	SHAWN MICHAEL HUIZENGA	秋学期	2	可	
30306010	002	American Law [Law of Torts - 2024]	2	SHAWN MICHAEL HUIZENGA	秋学期	2	可	
30306011	001	Asian Law [Chinese Private International Law 2024]	2	黄 ジン霆	秋学期	2	不可	
30306012	001	European Law [Private International Law]	2	植松 真生	秋学期	2	可	
30306012	002	European Law [Reforming Product Liability Law]	2	DUNCAN FAIRGRIEVE	春学期	集中	不可	(注1)
30306013	001	Current Issues in Comparative Law [Rules and Regulations on Blockchains and Crypto-assets]	2	高橋 宏司	秋学期	2	可	
30306013	002	Current Issues in Comparative Law [Global Negotiation 2024]	2	JAY KLAPHAKE	春学期	2	可	
30306013	003	Current Issues in Comparative Law [Private International Law 2024]	2	西谷 祐子	秋学期	2	可	
30306013	004	Current Issues in Comparative Law [Comparative Competition Law of China and the United States]	2	THOMAS KIN HON CHENG	春学期	集中	不可	(注1)
30306014	001	International Law [International Humanitarian Law 2024]	2	新井 京	秋学期	2	可	
30306015	001	International Arbitration [International Commercial Arbitration 2024]	2	高橋 宏司	秋学期	2	可	
30306016	001	International Institutions and Global Law [Hague Conference and Hague PIL Conventions]	2	植松 真生	秋学期	2	可	
30306017	001	Current Issues in Global Law [Worker Disptach, Outsourcing and the Regulation of HR Services; a Comparative Perspective]	2	COLIN P.A. JONES	秋学期	2	可	
30306017	002	Current Issues in Global Law [Theories of Global Justice 2024]	2	JAY KLAPHAKE	秋学期	2	可	
30306017	003	Current Issues in Global Law [Solving Current Conflicts of Laws and Jurisdiction in a Global context: General methodological issues]	2	GERALD GOLDSTEIN	春学期	集中	不可	(注1)
30306017	004	Current Issues in Global Law [Solving Current Conflicts of Laws and Jurisdiction in a Global context: Contractual and Extracontractual Obligations, Family law, Succession and Trusts]	2	GERALD GOLDSTEIN	春学期	集中	不可	(注1)
30306018		International Commercial Arbitration Moot 1	2	廣田 浩	春学期	2	不可	
30306019		International Commercial Arbitration Moot 2	2	廣田 浩	秋学期	2	不可	
30306020		International Law Moot 1	2	(本年度休講)				
30306021		International Law Moot 2	2	(本年度休講)				
30306026	001	Japanese Law [Constitutional Law and Major Cases, 2024]	2	東川 浩二	春学期	集中	可	(注1・注2)
30306026	002	Japanese Law [Competition Law in Japan: Concepts and Issues in Digital Economy]	2	SHIN-RU CHENG	秋学期	集中	可	(注1・注3)
研究科間協定科目								
30306027	001	Research and Writing	2	二村 太郎	春学期	2	不可	(注4・注5)
30306027	002	Research and Writing	2	二村 太郎	秋学期	2	不可	(注4・注5)
30306027	003	Research and Writing	2	SHAWN MICHAEL HUIZENGA 高杉 直	秋学期	2	不可	(注4・注5)

(注1) 今年度修了予定者は登録できない場合がありますので、掲示を確認してください。

(注2) 2022年度以前生は、「Japanese Constitution」を履修してください。

(注3) 2022年度以前生は、「Special Course in Japanese Law」を履修してください。

(注4) ダブル・ディグリープログラムへの参加学生のみが履修できます。それ以外の私法学・公法学専攻の学生は修了単位に算入されません。

(注5) 2023年度以前生は、「Research and Writing(Law)」を履修してください。

登録コード		科目名	単位	担当者	期間	週時間	聴講区分	備考
科目	クラス							
【論文指導科目・論文】								
30305996		論文指導	2	別表参照				
30332901		論文						

●私法学専攻・論文指導

科目コード：30305996

担当者	クラスコード		担当者	クラスコード		担当者	クラスコード	
	春	秋		春	秋		春	秋
深谷 格	201	601	釜田 薫子	210	610	山根 崇邦	220	620
梶山 玉香	202	602	川口 恭弘	211	611	林 貴美	221	621
神谷 遊	203	603	木下 孝治	212	612	高杉 直	222	622
川和 功子	204	604	瀬領 真悟	213	613	高橋 宏司	223	623
荻野 奈緒	205	605	林 昭一	214	614	土田 道夫	224	624
大中 有信	206	606	川嶋 四郎	215	615	上田 達子	225	625
上田誠一郎	207	607	中西 正	217	617	—	—	—
船津 浩司	208	608	岡田 幸宏	218	618	—	—	—
伊藤 靖史	209	609	井関 涼子	219	619	—	—	—

【注 意】

※「論文指導」は合計4単位を履修する必要があり、うち2単位は修了する学期に必ず履修しなければなりません。

※修士論文を提出する予定の方は、決定している指導教員の担当する「論文指導」および「論文」を必ず登録してください。

※春・秋学期に1回ずつ登録する場合は、必ず同一担当者の「論文指導」を登録してください（指導教員の「論文指導」が半期のみ開講の場合は、今出川キャンパス教務センター（法学研究科）までご連絡ください）。

※今年度修士論文を提出する予定でない場合でも、下記に該当する方は、今年度中に「論文指導」を必ず登録してください。「論文指導（計4単位）」の履修には、2学期以上必要となりますので、計画的に登録履修をしてください。

1. 来年度の春学期修了を予定している
2. 来年度の秋学期修了を予定しているが、春学期は休学する予定である
3. すでに1年半以上在籍しており、今後は修士論文を提出する学期以外は休学予定である

※後述の「履修について（私法学専攻・公法学専攻）」を参照してください。

公 法 学 専 攻

登録コード		科 目 名	単 位	担 当 者	期 間	週時間	聴講区分	備 考
科 目	ク ラ ス							
【基幹科目】								
30365601		憲法演習ⅠⅠ	2	勝山 教子	春学期	2	可	
30365602		憲法演習ⅠⅡ	2	勝山 教子	秋学期	2	可	
30365611		憲法演習ⅡⅠ	2	松本 哲治	春学期	2	可	
30365612		憲法演習ⅡⅡ	2	松本 哲治	秋学期	2	可	
30365651		行政法演習ⅠⅠ	2	佐伯 彰洋	春学期	2	不可	
30365652		行政法演習ⅠⅡ	2	佐伯 彰洋	秋学期	2	不可	
30365661		行政法演習ⅡⅠ	2	黒坂 則子	春学期	2	不可	
30365662		行政法演習ⅡⅡ	2	黒坂 則子	秋学期	2	不可	
30365671		税法演習Ⅰ	2	倉見 智亮	春学期	2	不可	
30365672		税法演習Ⅱ	2	倉見 智亮	秋学期	2	不可	
30365701		刑法演習ⅠⅠ	2	川崎 友巳	春学期	2	可	
30365702		刑法演習ⅠⅡ	2	川崎 友巳	秋学期	2	可	
30365711		刑法演習ⅡⅠ	2	松原 久利	春学期	2	可	
30365712		刑法演習ⅡⅡ	2	松原 久利	秋学期	2	可	
30365721		刑事訴訟法演習Ⅰ	2	宮木 康博	春学期	集中	可	(注)
30365722		刑事訴訟法演習Ⅱ	2	宮木 康博	秋学期	集中	可	(注)
30365731		刑事学演習Ⅰ	2	川崎 友巳	春学期	集中	可	(注)
30365732		刑事学演習Ⅱ	2	川崎 友巳	秋学期	2	可	
30365751		国際法演習ⅠⅠ	2	浅田 正彦	春学期	集中	不可	(注)
30365752		国際法演習ⅠⅡ	2	浅田 正彦	秋学期	2	不可	
30365761		国際法演習ⅡⅠ	2	新井 京	春学期	2	可	
30365762		国際法演習ⅡⅡ	2	新井 京	秋学期	2	可	
30365801		法哲学演習Ⅰ	2	濱 真一郎	春学期	2	可	
30365802		法哲学演習Ⅱ	2	浅野 有紀	秋学期	2	可	
30365811		法思想史演習Ⅰ	2	戒能 通弘	春学期	2	可	
30365812		法思想史演習Ⅱ	2	戒能 通弘	秋学期	2	可	
30365821		法社会学演習Ⅰ	2	木下麻奈子	春学期	2	可	
30365822		法社会学演習Ⅱ	2	木下麻奈子	秋学期	2	可	
30365851		英米法演習Ⅰ	2	勝田 卓也	春学期	2	不可	
30365852		英米法演習Ⅱ	2	会沢 恒	秋学期	集中	可	(注)
30365863		日本法史演習Ⅰ	2	西村 安博	春学期	2	可	
30365864		日本法史演習Ⅱ	2	西村 安博	秋学期	2	可	
30365873		西洋法史演習Ⅰ	2	佐々木 健	春学期	2	可	
30365874		西洋法史演習Ⅱ	2	佐々木 健	秋学期	2	可	
30365883		東洋法史演習Ⅰ	2	浅野 宜之	春学期	2	可	
30365884		東洋法史演習Ⅱ	2	浅野 宜之	秋学期	2	可	
【共通科目】								
30305901		ケーススタディ憲法	2	檜垣 伸次	春学期	2	可	
30305902		ケーススタディ行政法	2	黒坂 則子	春学期	2	不可	
30305903		ケーススタディ税法	2	倉見 智亮	春学期	2	可	
30305904		ケーススタディ刑法	2	十河 太朗	秋学期	2	可	
30305905		ケーススタディ刑事訴訟法	2	濱田 毅	秋学期	2	可	
30305906		ケーススタディ国際法	2	岩本 誠吾	秋学期	2	可	
30305912		ケーススタディ民法Ⅰ	2	荻野・野々村	春学期	2	可	
30305913		ケーススタディ民法Ⅱ	2	荻野・野々村	秋学期	2	可	
30305908		ケーススタディ商法	2	伊藤・船津	春学期	2	不可	
30305909		ケーススタディ民事訴訟法	2	園田 賢治	秋学期	2	可	

(注) 今年度修了予定者は登録できない場合がありますので、掲示を確認してください。

登録コード		科目名	単位	担当者	期間	週時間	聴講区分	備考
科目	クラス							
30305921		ビジネス契約法	2	松田日佐子	秋学期	集中	可	(注1)
30305922		消費者法	2	荻野 奈緒	秋学期	2	可	
30305923		金融取引法	2	船津 浩司	秋学期	2	不可	
30305924		経済刑法	2	山田 慧	秋学期	2	可	
30305925		コーポレート・ガバナンス	2	釜田 薫子	春学期	2	不可	
30305926		コーポレート・ファイナンス	2	伊藤 靖史	秋学期	2	不可	
30305945		証券規制	2	川口 恭弘	秋学期	2	不可	(注2)
30305928		M&A	2	船津 浩司	春学期	2	不可	
30305942		企業活動と経済法	2	小林 渉	秋学期	2	可	
30305929		企業税法	2	倉見 智亮	秋学期	2	可	
30305930		法律英語	2	松田日佐子	春学期	集中	可	(注1)
30305931		担保権実行法	2	川嶋 四郎	春学期	2	可	
30305932		倒産処理法	2	金・中西	春学期	2	可	
30305933		国際取引法	2	高杉 直	春学期	2	可	
30305934		国際経済法	2	瀬領 真悟	春学期	2	可	
30305935		国際民事訴訟法	2	高杉 直	秋学期	2	可	
30305936		国際知的財産法	2	辻 淳子	秋学期	2	可	
30305937		ビジネスと知的財産法	2	山田威一郎	春学期	2	可	
30305938		企業人事と労働法	2	土田 道夫	春学期	2	可	
30305939		企業法務と労働法	2	土田 道夫	秋学期	2	可	
30305943		企業法務エシックス	2	渡邊・廣田	春学期	2	不可	
30305940		企業法務ベーシック	2	船津・渡邊・廣田	春学期	2	不可	
30305944	001	企業法務アドバンス[リーガルフィールドワークの準備]	2	渡邊 義広	春学期	2	可	(注3)
30305944	002	企業法務アドバンス [最近の労働法制と企業法務]	2	渡邊 義広	秋学期	2	可	(注3)
30305944	003	企業法務アドバンス [調停の理論と紛争解決の制度]	2	入江 秀晃	春学期	集中	可	(注1・注3)
30305944	004	企業法務アドバンス [調停の技法の実践的学習]	2	入江 秀晃	秋学期	集中	可	(注1・注3)
30305944	005	企業法務アドバンス[M&Aとファイナンスの法と実務]	2	永井 智亮	春学期	集中	可	(注1・注3)
30305944	006	企業法務アドバンス[コーポレート・ガバナンスと企業倫理]	2	永井 智亮	秋学期	集中	可	(注1・注3)
30305944	007	企業法務アドバンス [国際契約論]	2	小倉 隆	春学期	2	可	(注3)
30305944	008	企業法務アドバンス[国際商事紛争解決の実務と法]	2	小倉 隆	秋学期	2	可	(注3)
30305944	009	企業法務アドバンス[企業法務部に不可欠な知識とスキル]	2	飯田 浩司	春学期	集中	可	(注1・注3)
30305944	010	企業法務アドバンス[国際民事紛争解決の実務(日本仲裁人協会寄付講座)]	2	渡邊・廣田	春学期	2	可	(注3)
30304491		リーガル・フィールドワーク	2	釜田・渡邊・廣田	秋学期	2	不可	(注4)
30305984	001	法学文献研究 [英語]	2	濱 真一郎	春学期	2	可	(注5)
30305984	002	法学文献研究 [英語]	2	川崎 友巳	春学期	2	不可	(注5)
30305984	003	法学文献研究 [英語]	2	川崎 友巳	秋学期	2	不可	(注5)
30305984	004	法学文献研究 [英語]	2	川嶋 四郎	春学期	2	可	(注5)
30305984	005	法学文献研究 [英語]	2	川嶋 四郎	秋学期	2	可	(注5)
30305984	006	法学文献研究 [英語]	2	川和 功子	春学期	2	不可	(注5)
30305984	007	法学文献研究 [英語]	2	川和 功子	秋学期	2	不可	(注5)
30305984	009	法学文献研究 [英語]	2	黒坂 則子	春学期	2	不可	(注5)
30305984	010	法学文献研究 [英語]	2	黒坂 則子	秋学期	2	不可	(注5)
30305984	011	法学文献研究 [英語]	2	倉見 智亮	春学期	2	不可	(注5)
30305984	012	法学文献研究 [英語]	2	倉見 智亮	秋学期	2	不可	(注5)
30305984	013	法学文献研究 [英語]	2	浅野 有紀	春学期	2	可	(注5)
30305984	014	法学文献研究 [英語]	2	浅野 有紀	秋学期	2	可	(注5)

(注1) 今年度修了予定者は登録できない場合がありますので、掲示を確認してください。

(注2) 2023年度以前生は、「金融商品取引法」を履修してください。

(注3) 各クラス1回のみ履修可能です。過年度に履修したクラス以外の企業法務アドバンスを登録しようとした際、画面上に「過年度履修済み」と表示されますが、同一クラス以外は登録することが可能です。

(注4) 「リーガル・フィールドワーク」は、当該年度の「企業法務エシックス」「企業法務ベーシック」の履修を条件とし、受講生選考を実施します。詳細は『法学研究科履修の手引き』を参照してください。

(注5) 2022年度以前生は、「文献研究(～語)」を履修してください。

登録コード		科目名	単位	担当者	期間	週時間	聴講区分	備考
科目	クラス							
30305984	015	法学文献研究 [ドイツ語]	2	平井 亮輔	秋学期	2	可	(注5)
30305984	016	法学文献研究 [ドイツ語]	2	上田誠一郎	春学期	2	可	(注5)
30305984	017	法学文献研究 [ドイツ語]	2	上田誠一郎	秋学期	2	可	(注5)
30305984	018	法学文献研究 [ドイツ語]	2	中田 邦博	春学期	2	可	(注5)
30305984	019	法学文献研究 [ドイツ語]	2	中田 邦博	秋学期	2	可	(注5)
30305984	020	法学文献研究 [ドイツ語]	2	池田 直人	春学期	2	不可	(注5)
30305984	021	法学文献研究 [ドイツ語]	2	池田 直人	秋学期	2	不可	(注5)
30305984	022	法学文献研究 [ドイツ語]	2	林 貴美	春学期	2	不可	(注5)
大学院特殊講義								
テーマ								
30305991	101	グローバル時代の法、政治、分配的正義	2	浅野 (有)・濱	秋学期	2	可	
30305991	102	武力紛争法2024	2	岩本 誠吾	春学期	2	可	
グローバル科目 [] はサブタイトルを表す								
30306001	001	Introduction to Japanese Law	2	萩原 一樹	春学期	集中	不可	
30306001	002	Introduction to Japanese Law	2	萩原 一樹	秋学期	集中	不可	
30306010	001	American Law [Criminal Law -2024]	2	SHAWN MICHAEL HUIZENGA	秋学期	2	可	
30306010	002	American Law [Law of Torts - 2024]	2	SHAWN MICHAEL HUIZENGA	秋学期	2	可	
30306011	001	Asian Law [Chinese Private International Law 2024]	2	黄 ジン霆	秋学期	2	不可	
30306012	001	European Law [Private International Law]	2	植松 真生	秋学期	2	可	
30306012	002	European Law [Reforming Product Liability Law]	2	DUNCAN FAIRGRIEVE	春学期	集中	不可	(注1)
30306013	001	Current Issues in Comparative Law [Rules and Regulations on Blockchains and Crypto-assets]	2	高橋 宏司	秋学期	2	可	
30306013	002	Current Issues in Comparative Law [Global Negotiation 2024]	2	JAY KLAPHAKE	春学期	2	可	
30306013	003	Current Issues in Comparative Law [Private International Law 2024]	2	西谷 祐子	秋学期	2	可	
30306013	004	Current Issues in Comparative Law [Comparative Competition Law of China and the United States]	2	THOMAS KIN HON CHENG	春学期	集中	不可	(注1)
30306014	001	International Law [International Humanitarian Law 2024]	2	新井 京	秋学期	2	可	
30306015	001	International Arbitration [International Commercial Arbitration 2024]	2	高橋 宏司	秋学期	2	可	
30306016	001	International Institutions and Global Law [Hague Conference and Hague PIL Conventions]	2	植松 真生	秋学期	2	可	
30306017	001	Current Issues in Global Law [Worker Disptach, Outsourcing and the Regulation of HR Services; a Comparative Perspective]	2	COLIN P.A. JONES	秋学期	2	可	
30306017	002	Current Issues in Global Law [Theories of Global Justice 2024]	2	JAY KLAPHAKE	秋学期	2	可	
30306017	003	Current Issues in Global Law [Solving Current Conflicts of Laws and Jurisdiction in a Global context: General methodological issues]	2	GERALD GOLDSTEIN	春学期	集中	不可	(注1)
30306017	004	Current Issues in Global Law [Solving Current Conflicts of Laws and Jurisdiction in a Global context: Contractual and Extracontractual Obligations, Family law, Succession and Trust)]	2	GERALD GOLDSTEIN	春学期	集中	不可	(注1)
30306018		International Commercial Arbitration Moot 1	2	廣田 浩	春学期	2	不可	
30306019		International Commercial Arbitration Moot 2	2	廣田 浩	秋学期	2	不可	
30306020		International Law Moot 1	2	(本年度休講)				
30306021		International Law Moot 2	2	(本年度休講)				
30306026	001	Japanese Law [Constitutional Law and Major Cases, 2024]	2	東川 浩二	春学期	集中	可	(注1・注2)
30306026	002	Japanese Law [Competition Law in Japan: Concepts and Issues in Digital Economy]	2	SHIN-RU CHENG	秋学期	集中	可	(注1・注3)

(注1) 今年度修了予定者は登録できない場合がありますので、掲示を確認してください。

(注2) 2022年度以前生は、「Japanese Constitution」を履修してください。

(注3) 2022年度以前生は、「Special Course in Japanese Law」を履修してください。

(注4) ダブル・ディグリープログラムへの参加学生のみが履修できます。それ以外の私法学・公法学専攻の学生は修了単位に算入されません。

(注5) 2023年度以前生は、「Research and Writing(Law)」を履修してください。

登録コード		科 目 名	単 位	担 当 者	期 間	週時間	聴講区分	備 考
科 目	クラス							
研究科間協定科目								
30306027	001	Research and Writing	2	二村 太郎	春学期	2	不可	(注4・注5)
30306027	002	Research and Writing	2	二村 太郎	秋学期	2	不可	(注4・注5)
30306027	003	Research and Writing	2	SHAWN MICHAEL HUIZENGA 高杉 直	秋学期	2	不可	(注4・注5)
【論文指導科目・論文】								
30305996		論文指導	2	別表参照				
30363901		論 文						

●公法学専攻・論文指導

科目コード：30305996

担当者	クラスコード		担当者	クラスコード		担当者	クラスコード	
	春	秋		春	秋		春	秋
勝山 教子	401	801	川崎 友巳	407	807	木下麻奈子	413	813
松本 哲治	402	802	新井 京	408	808	西村 安博	414	814
黒坂 則子	403	803	浅田 正彦	409	809	—	—	—
佐伯 彰洋	404	804	浅野 有紀	410	810	—	—	—
倉見 智亮	405	805	濱 真一郎	411	811	—	—	—
横田 光平	406	806	戒能 通弘	412	812	—	—	—

【注 意】

※「論文指導」は合計4単位を履修する必要がある、うち2単位は修了する学期に必ず履修しなければなりません。

※修士論文を提出する予定の方は、決定している指導教員の担当する「論文指導」および「論文」を必ず登録してください。

※春・秋学期に1回ずつ登録する場合は、必ず同一担当者の「論文指導」を登録してください（指導教員の「論文指導」が半期のみ開講の場合は、今出川キャンパス教務センター（法学研究科）までご連絡ください）。

※今年度修士論文を提出する予定でない場合でも、下記に該当する方は、今年度中に「論文指導」を必ず登録してください。「論文指導（計4単位）」の履修には、2学期以上必要となりますので、計画的に登録履修をしてください。

1. 来年度の春学期修了を予定している
2. 来年度の秋学期修了を予定しているが、春学期は休学する予定である
3. すでに1年半以上在籍しており、今後は修士論文を提出する学期以外は休学予定である

※後述の「履修について（私法学専攻・公法学専攻）」を参照してください。

履修について（政治学専攻）

I. 修了要件

大学院学則第7条を確認してください。

II. 修了必要単位

「設置・開講科目一覧」に掲載されている科目のうちから**政治学基礎を必修とし、かつ合計30単位以上選択履修**してください。

ただし、本研究科他専攻、本学大学院他研究科又は高等研究教育院が設置する科目を選択履修した場合は、合計12単位まで修了単位に算入します。

III. 履修登録上の注意

1. 一度合格評価を得た科目を再度履修しても、修了必要単位には算入できません。自由科目扱いになります。
2. 私法学・公法学専攻の「大学院特殊講義」については、4単位までしか修了単位に算入できません。
3. 私法学・公法学専攻の「法学文献研究」（2021年度以前生は文献研究（～語））については、6単位までしか修了単位に算入できません。
4. 以下の科目は複数回履修が可能ですが、一度不合格になった後、同じ科目を合格しても **GPAの書き換えは行われません**ので、注意してください。

○政治学専攻科目

- ・政治学文献研究（2021年度以前生は文献研究）
- ・大学院特殊講義（テーマの異なるクラス）

○私法学・公法学専攻科目

- ・法学文献研究（2021年度以前生は文献研究（～語））
- ・企業法務アドバンス（履修済みのクラス以外）
- ・大学院特殊講義（テーマの異なるクラス）
- ・グローバル科目（サブタイトルの異なるクラス）

5. 大学院学則により、博士課程の前期課程に2年以上在学し、所定の単位を修得した方は、次の学期から授業料および教育充実費が半額となります。ただし、**学部または大学院の授業科目（「論文指導」および「論文」を除く）を履修する場合は、この適用を受けることができませんので、留意のうえ科目登録をしてください。**

特に、**修士論文が不合格の場合、修士論文を提出する学期の「論文指導」も不合格となり、所定の単位を修得できなくなる可能性があります。**また、春学期と秋学期に分かれて開講されているセット登録科目を登録して春学期科目が合格した場合、秋学期科目の履修を中止することはできません。これらの場合はこの適用を受けることができませんので、注意してください。

ご不明な点は、今出川キャンパス教務センター（法学研究科）までお問合せください。

IV. 登録について

『法学研究科履修の手引き』を参照してください。

V. 修士論文について

各種手続の詳細については、『法学研究科履修の手引き』を参照してください。また、その都度掲示で周知しますので、法学研究科掲示板に注意してください。

VI. ダブル・ディグリープログラムについて

ダブル・ディグリープログラムの履修については、『法学研究科履修の手引き』を参照してください。

Ⅶ. 授業1週目（DO Week）と授業15週目のオンデマンド配信の受講方法について

2024年度からの新学年暦では通常の教室での授業は13週の授業期間に受講し、残り2週分の授業はオンデマンドで受講することを基本としています。授業1週目（DO Week）のオンデマンド配信はシラバスから URL を確認、受講の上、指示された課題等に取り組んでください。具体的な受講手順については大学 HP に掲載しています。以下 URL もしくは QR コードから詳細を確認してください。

また、授業15週目のオンデマンド配信を含めて、授業2週目以降に行われるオンデマンド配信の受講方法については科目担当者からの指示に従ってください。

■2024年度からの学年暦

https://www.doshisha.ac.jp/students/new_calender/index.html



履修について（私法学専攻・公法学専攻）

I. 修了要件

大学院学則第7条を確認してください。

II. 修了必要単位

自専攻の「設置・開講科目一覧」に掲載されている科目のうちから**基幹科目を8単位以上、かつ合計30単位以上選択履修**してください。

また本研究科他専攻、本学大学院他研究科又は高等研究教育院が設置する科目を選択履修した場合は、合計16単位まで修了単位に算入します。ただし、本学大学院他研究科及び高等研究教育院の設置する科目については、8単位までしか修了単位に算入できません。

III. 履修登録上の注意

1. 一度合格評価を得た科目を再度履修しても、修了必要単位には算入できません。自由科目扱いになります。
2. 私法学・公法学専攻の「大学院特殊講義」については、4単位までしか修了単位に算入できません。
3. 「法学文献研究」（2021年度以前生は文献研究（～語））については、複数回履修科目ではありますが、3科目合計で6単位までしか修了単位に算入できません。
4. 政治学専攻の「政治学文献研究」（2021年度以前生は文献研究）については、修了単位に算入できません。
5. Research and Writing はダブル・ディグリープログラムの参加学生のみが履修できます。それ以外の私法学、公法学の学生は修了単位に算入されません。
6. 以下の科目は複数回履修が可能ですが、一度不合格になった後、同じ科目を合格しても **GPA の書き換えは行われません**ので、注意してください。

○私法学・公法学専攻科目

- ・法学文献研究（2021年度以前生は文献研究（～語））
- ・企業法務アドバンス（サブタイトルの異なるクラス）
- ・大学院特殊講義（テーマの異なるクラス）
- ・グローバル科目（サブタイトルの異なるクラス）

○政治学専攻科目

- ・大学院特殊講義（テーマの異なるクラス）

7. 大学院学則により、博士課程の前期課程に2年以上在学し、所定の単位を修得した方は、次の学期から授業料および教育充実費が半額となります。ただし、**学部または大学院の授業科目（「論文指導」および「論文」を除く）を履修する場合は、この適用を受けることができませんので、留意のうえ科目登録をしてください。**

特に、**修士論文が不合格の場合、修士論文を提出する学期の「論文指導」も不合格となり、所定の単位を修得できなくなる可能性があります。**また、春学期と秋学期に分かれて開講されているセット登録科目を登録して春学期科目が合格した場合、秋学期科目の履修を中止することはできません。これらの場合はこの適用を受けることができませんので、注意してください。

ご不明な点は、今出川キャンパス教務センター（法学研究科）までお問合せください。

IV. 登録について

『法学研究科履修の手引き』を参照してください。

V. 修士論文について

各種手続の詳細については、『法学研究科履修の手引き』を参照してください。また、その都度掲示で周知しますので、法学研究科掲示板に注意してください。

VI. ダブル・ディグリープログラムについて

ダブル・ディグリープログラムの履修については、『法学研究科履修の手引き』を参照してください。

Ⅶ. 授業1週目（DO Week）と授業15週目のオンデマンド配信の受講方法について

2024年度からの新学年暦では通常の教室での授業は13週の授業期間に受講し、残り2週分の授業はオンデマンドで受講することを基本としています。授業1週目（DO Week）のオンデマンド配信はシラバスから URL を確認、受講の上、指示された課題等に取り組んでください。具体的な受講手順については大学 HP に掲載しています。以下 URL もしくは QR コードから詳細を確認してください。

また、授業15週目のオンデマンド配信を含めて、授業2週目以降に行われるオンデマンド配信の受講方法については科目担当者からの指示に従ってください。

■2024年度からの学年暦

https://www.doshisha.ac.jp/students/new_calender/index.html

